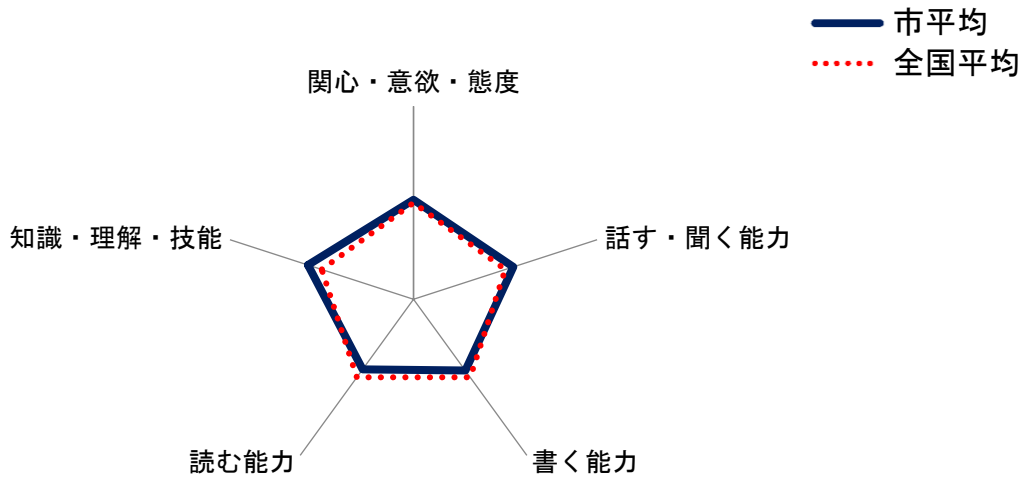
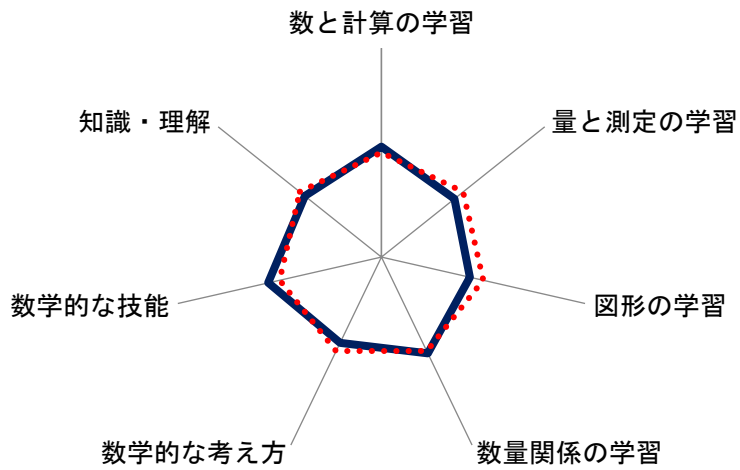


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

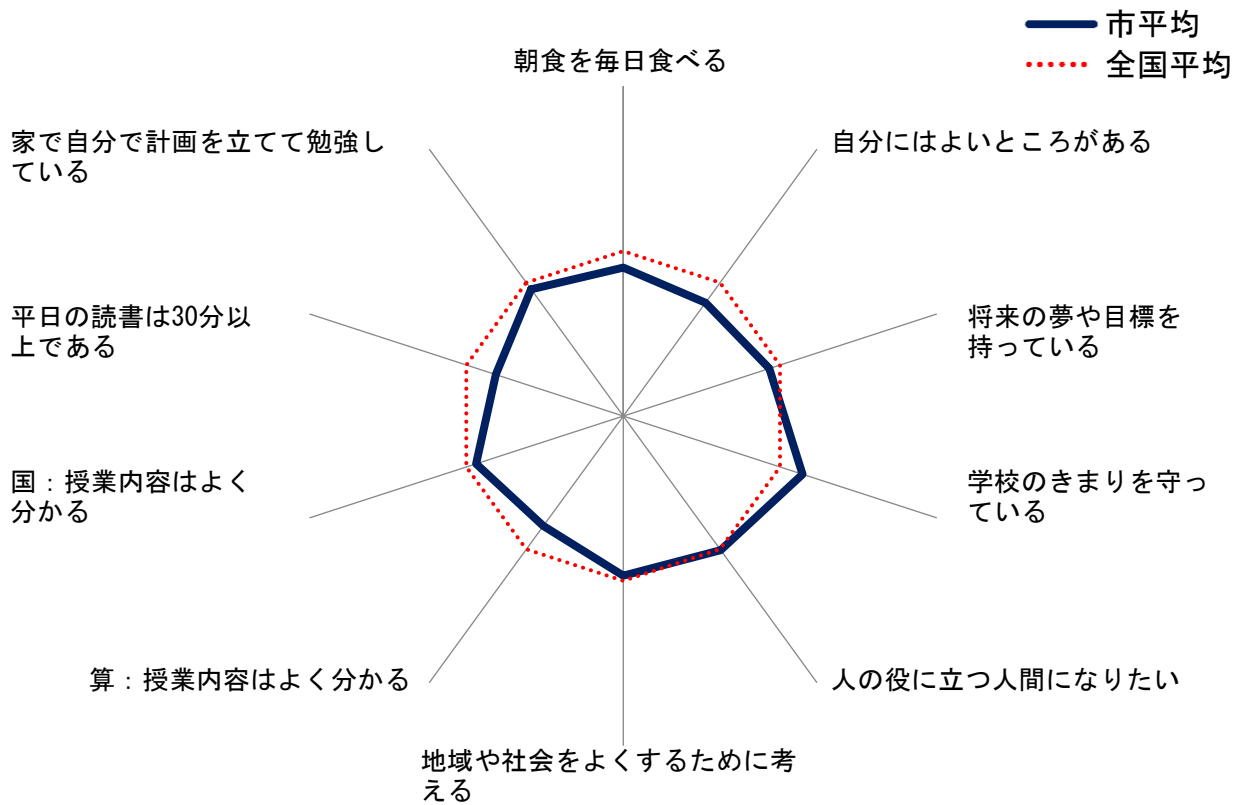
【国語】



【算数】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、算数の多くの項目が全国平均とほぼ同じか、やや下回っている。国語は「話す・聞く能力」、「書く能力」、「読む能力」の各項目は昨年度に比べて全国平均との差が縮まっている。また、算数においても、課題であった「知識・理解」の項目が改善されており、これまでの取組を継続させるとともに、更なる学力の向上のための対策が望まれる。

児童質問紙調査では、「学校のきまりを守っている」、「人の役に立つ人間になりたい」の各項目は昨年度に引き続き、全国平均を上回っている。「平日の読書は30分以上である」の項目は昨年度に比べて大きく改善されているものの、依然全国平均を下回っており、引き続き課題であると言える。今後も、みきゃん通帳の活用方法を検討するなど、読書に親しむ習慣づくりが望まれる。